(17) 子どもの夢を育む施設「こむこむ館」

所在地	〒960-8044　福島市早稲町１－１ TEL　524－3131　FAX　524－3130		
交通機関	（鉄道）ＪＲ東北・山形新幹線、ＪＲ東北・奥羽本線、 阿武隈急行線、福島交通飯坂線 （バス）ＪＲバス東北、福島交通「福島駅」徒歩５分		
開館年月日	平成17年7月23日	建設年月日	平成17年3月17日
面積と構造	(建物)9,886.42㎡　(敷地)5,000.00㎡ (構造)SRC一部S造地上４F地下１F		
委　員　数	運営委員　9名		

〈施設の概要〉

児童及び生徒の情操のかん養並びに科学知識及び芸術文化の普及及び向上を図り、もって次代を担う創造性豊かな子どもの育成に寄与することを目的に平成17年７月23日に開館した教育文化複合施設です。

様々なイベントが行われるわいわいホールやにぎわい広場、全天周映像も楽しめるプラネタリウム、児童書専門の子どもライブラリー、港をモチーフにした常設展示室等を備え、各種ワークショップ及び多彩なプログラムを実施します。また、市民との協働の観点から、ボランティア企画によるワークショップやイベントを開催します。

この他、市内の小学４年生全員を対象とする「こむこむ館学習」や、市内の中学校の特別支援学級生全員を対象とする「ふれあい体験学習」、さらに、希望する場合は４年生以外も対象とした館内学習など、学校教育との連携事業も実施します。

〈施設の案内〉

○開館時間　午前9時30分～午後7時
（わいわいホールの夜間使用がある場合に限り午後９時まで延長）

○休 館 日　毎週火曜日
（火曜日が国民の祝日に関する法律に規定する休日にあたる場合はその次の平日）
ただし、学校の長期休業日(夏季休業日、冬季休業日、学年末年始休業日)は開館します。

○利用方法　入館料は無料です。
（プラネタリウム及び有料の場合の企画展示は除く）
ワークショップ等の講座によっては、事前の申込みが必要です。

○プラネタリウム料金

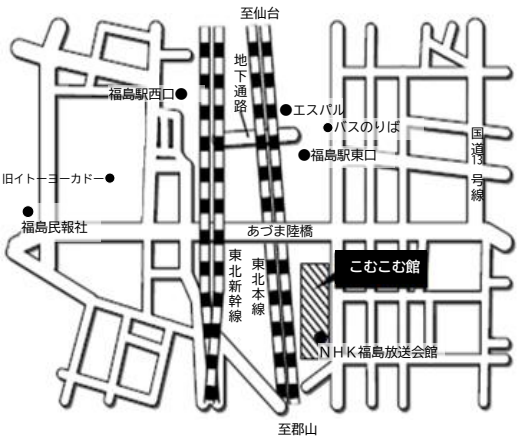
一般	300円（240円）
大学・高校生	200円（160円）
子ども（４歳～中学生）	100円（ 80円）

＊団体(20名以上)利用は事前にお申し込みください。
団体料金は（　）内の金額です。

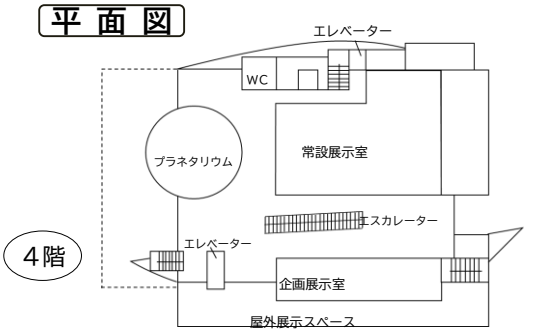
○企画展示料金
展示の企画内容によって、観覧料がかかる場合があります。
＊団体（20名以上）利用は事前にお申し込みください。
＊個人に係る所定の観覧料の80／100に相当する額で観覧できます。

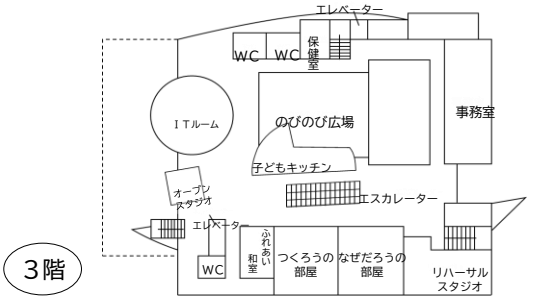
○月々の事業については、毎月「市政だより」「ホームページ」「こむこむだより」等でお知らせします。

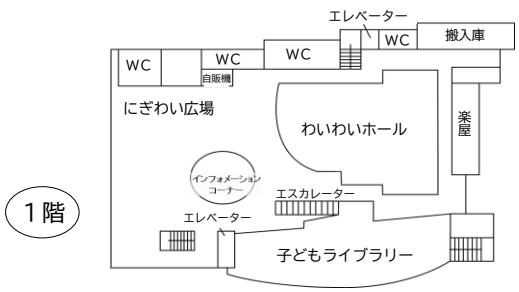
案 内 図

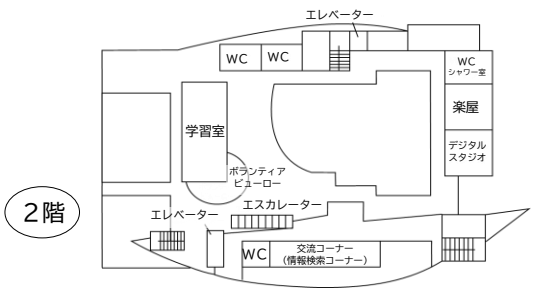


平 面 図









（18）社会教育館「立子山自然の家」

所在地	〒960-1321　福島市立子山字金井作１ TEL　597－2951　FAX　597－2951		
交通機関	（鉄道）ＪＲバス川俣行 （バス）伊達霞田バス停徒歩５分		
開館年月日	平成5年4月1日	建設年月日	平成5年3月12日
面積と構造	(建物)1,029.60㎡　(敷地)24,036.61㎡ (構造)S造　１F		
職員数	3名		

この施設は、青少年の健全育成を目的とした宿泊研修施設です。立子山地区の豊かな自然環境の中で、学校教育で取り組む集団宿泊研修や地域子供会などが行う野外活動のほかスポーツ少年団などが行うスポーツ活動にも利用できます。

〈施設の利用案内〉

○開館時間　午前８時３０分～午後５時００分
（キャンプを含む宿泊の場合は翌日午前１１時まで）
○休館日　　年末年始
○指導者に引率された５人以上の団体でご利用ください。
○利用する場合は、事前に電話で予約し、利用日時・利用人
数など確定した後、利用３日前までに申請書提出・使用料
支払いなどの手続きをしてください。

◇利用申込先…立子山自然の家又は下記指定管理者
エスエフシー株式会社 電話 024-555-2168

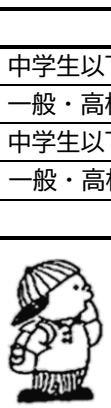
○食事は自炊になりますので、必要な材料や調味料等を持参してください。(食器、鍋等はあります。)
○宿泊定員は４０人です。
○体育館およびテニスコートの使用料は、体育館及びテニスコートだけを使用する場合にいただきます。
○暖房を使用する場合は、使用料が２割増しになります。
○宿泊者には、シーツ・枕カバーの洗濯代実費(２５０円程度)を負担していただきます。

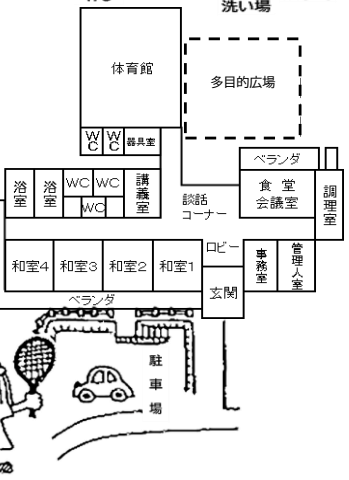
〈施設の概要〉

○宿泊・管理棟（590㎡）
・和室１～和室４(各18畳間・宿泊定員各10人)
・食堂兼会議室（62㎡）
・調理室　（36㎡）
・講義室　（定員18人）
・談話コーナー
・浴室　男子用、女子用
・便所　男子用、女子用、障害者用
・事務室、管理人室
○体育館　（420㎡）
・アリーナ　378㎡（25.2m×15m）
・バレーボール1面、ミニバスケットボール1面
バドミントン3面、卓球4台
・便所(男子用、女子用)　器具庫
・放送設備あり(マイク、スピーカー、アンプ等)
○屋外施設
・キャンプ場(テント約10張)
屋外便所、炊事場、洗い場、営火場
・多目的広場　ゲートボール場1面
・テニスコート3面(オムニコート)
・駐車場　20台
○設備
・キャンプ用テント(5人用10張、6人用15張)
・天体望遠鏡(移動式４台)、双眼鏡、
フィールドスコープ
※キャンプ用テント・天体望遠鏡の使用にあたっては取扱いのできる指導者に貸出しいたします。
○立子山自然の家周辺施設
蓬莱発電所、阿武隈峡遊歩道、阿武隈漕艇場
名勝・名跡（阿武隈峡、蓬莱岩、鮎滝渡船場跡）

○使用料

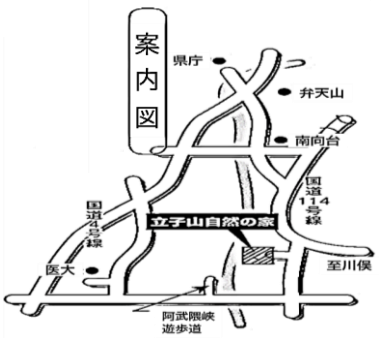
区　分		使　用　料					
日帰り	1人1日につき	中学生以下	150円	暖房期間（11月～翌3月）	中学生以下	180円
		一般・高校	300円		一般・高校	360円
宿泊	1人1泊につき	中学生以下	250円		中学生以下	300円
		一般・高校	500円		一般・高校	600円
体育館	1回(3時間以内)		500円			600円
テニスコート	1時間につき	個人使用	高校生以下　60円			
			一般　100円			
		専用使用　１面	400円			
キャンプ場	1人１回につき		100円			





○令和５年度利用状況

区分	人 数	団体数
宿泊利用者	1,888	101
日帰り利用者	719	14
体育館のみ利用者	2,768	177
キャンプ場利用者	2,930	313
テニスコート利用者	1,005	-
合計	9,310	605



(19) 福 島 市 立 図 書 館

所在地	〒960-8018　福島市松木町1-1 TEL　531－6551　FAX　531－5507		
交通機関	交通機関福島交通福島市内循環線 「新浜公園」下車		
設置年月日	昭和60年4月1日	建設年月日	昭和33年10月31日
面積と構造	(建物)2,694.81㎡　　(構造)RC3F		
職員数	館長　1名　　職員　5名　司書　10名 会計年度任用職員(司書 21名・技能職員 2名・その他 4名) 計　43名		
委員　指導員数	図書館協議会委員 10名		
蔵 書 数	924,847冊（令和6年3月31日現在） ※うち電子書籍12,374冊		

〈施設の概要〉

旧市内の中央部に位置し、中央学習センターとおなじ敷地内にあり、文化施設の中心をなしている。
分館として、コラッセふくしま内に西口ライブラリー、こむこむ館内に子どもライブラリーがある。

〈地域、施設の案内紹介〉

〔図書館（本館）、西口ライブラリー（分館）、子どもライブラリー（分館）、移動図書館「しのぶ号」〕

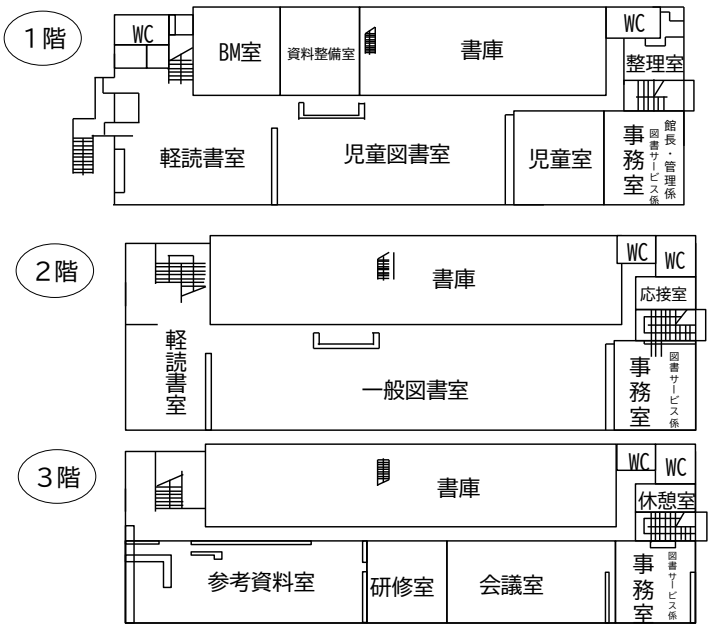
○休館日と開館時間

施　設　名	休　　館　　日	開　館　時　間	
		月・水～土曜日	日曜日・祝日
図書館（本館）	・火曜日（火曜日が休日に当たるときは、直後の平日） ・年末年始（12月29日～1月3日） ・毎月月末（館内整理日、その日が2号に掲げる日、日曜日、土曜日休日に当たるときはその前日） ・特別整理期間（教育委員会が別に定める日）	・午前9時30分 ～午後7時	・午前9時30分 ～午後5時30分
西口ライブラリー（分館）		・午前9時30分 ～午後7時	・午前9時30分 ～午後6時
子どもライブラリー（分館）	・火曜日（火曜日が休日に当たるときは、直後の平日） ・特別整理期間（教育委員会が別に定める日）	・午前9時30分～午後7時	

○利用方法　　図書貸出券による貸出（移動図書館を含む全ての施設共通）

○貸出冊数と期間　1人10冊以内（移動図書館は5冊以内）2週間まで（移動図書館は次の巡回日まで）
※電子書籍　1人2点以内　2週間まで

平 面 図



案 内 図

〈運営方針〉

市民の誰もが利用しやすい充実した図書館サービスを展開し、市民の自発的な学習活動を支えるほか、利用され親しまれる図書館づくりに努めます。

(1) 資料の収集保存と情報の提供

多角的な視野により、計画的かつ効率的に図書館資料の収集保存を行い、市民に多様な資料や情報を提供します。

図書館本館・分館をはじめ、本市の図書施設19か所（各地区学習センターを含む。）では、市民の誰もが他の図書施設の本を希望する施設に取り寄せし借りることができます。今後も充実した図書サービスを展開するよう努めます。

また、図書館を利用する市民のきっかけづくりと利用拡大を図るため、市政だよりをはじめ、ホームページやSNSなどのICTを活用し、広く情報を発信します。

(2) 子どもの読書活動推進

令和3年3月に第4次福島市子ども読書活動推進計画を策定しました。その中で、「10分読書運動」「ふくしま読書の日」を柱として、子どもの世代にとどまらない市全体で読書活動推進の機運を高める取組を定めました。

「10分読書運動」は、「1日の中で、いつでも、どこでも、誰とでも、どんな形でもよいので、1日合計10分本に親しもう、10分読書の時間を持とう」という働きかけを市全体で行う運動です。「1日合計10分」は、読書に苦手意識のある子どもや忙しい中学生・高校生も、数分間を積み上げることで達成することができます。毎日、短い時間であっても子どもが本に接し、日常生活の一部となることで、読書習慣の確立を図ります。

具体的な取組として、ブックスタート・ブックステップ事業や年代に応じたおはなし会、赤ちゃんタイムの導入など、子どもが発達段階や個性に応じて自然に読書に親しむきっかけづくりが図れるような事業を推進します。

また、学校図書館機能のさらなる充実や、児童生徒の読書活動や学習への支援、学校図書館を活用した教育の充実を図るため、学校司書を小・中学校全校に配置し、学校支援図書セットの貸出とともに、子どもの読書意欲を高める支援を行います。

(3) 市民に利用され親しまれる図書館づくり

図書館本館・分館においては、市民の図書資料に対する多様なニーズに適切、迅速に対応できるよう、市民に寄り添った司書の人材育成と確保に努めます。そのために、市民と資料を結びつける役割を担う司書のより高い接遇意識と専門知識の向上に努め、市民に親しまれる図書館づくりを目指します。

また、市全体で読書や本への関心を高めるために、毎月24日を「ふくしま読書の日」として制定し、各種取組を実施します。取組実施には行政だけでなく、書店等の民間事業者や読書ボランティア等とも共創し、広く市民に定着するよう努めます。

具体的な取組として、一般向けの朗読会、読書週間事業を通し、幅広い世代の読書活動を推進します。

また、学校での調査やICTを活用したアンケート等を実施し継続的に評価します。

〈主な事業〉

領域	事　業　名	期日	時間	対象	内　容
図書館（本館）	どようびのおはなし会	毎週土曜日	午後2時～	4歳～小学生	絵本・紙芝居などの読み聞かせ・ブックトークなどを行う。
	おひざにだっこのおはなし会	第3木曜日	午前10時30分～	3歳までの乳幼児と保護者	絵本の読み聞かせ・てあそび・わらべうたなどを行う。
西口ライブラリー（分館）	ことのはの時間（とき）	6・9・12・3月	午後2時30分～	一般	大人の方を対象とした朗読を行う。
子どもライブラリー（分館）	にちようびのおはなし会	第1日曜日 第2日曜日	午後3時10分～	小学生	絵本の読み聞かせ、テーマに合せた本の紹介などを行う。
	おひざにだっこのおはなし会	第1木曜日 第3日曜日	午前11時～	3歳までの乳幼児と保護者	絵本の読み聞かせ・てあそび・わらべうたなどを行う。
	おはなし会プチ	学校行事を考慮し随時設定	午後3時10分～	3歳～小学生	絵本の読み聞かせ、工作などを行う。
	わらべうたであそぼう	学校行事を考慮し随時設定	午後3時10分～	4歳～小学生	わらべうたで楽しく遊ぶ。

○その他の事業

対面朗読：目の不自由な方のための朗読会を実施している。
特別事業：随時、各施設ごとにテーマを設定し実施している。
本の展示：随時、各施設ごとにテーマに合わせて実施している。
障がい者サービス：大型活字本・朗読テープ・手でさわる絵本を揃えている。